

令和6年度 第2回

# 丹波篠山市視聴覚ライブラリー運営委員会

日 時：令和6年10月9日（水）19時～

場 所：丹波篠山市立中央図書館 視聴覚ホール

1 開 会

2 あいさつ

3 **報告事項**

・令和6年度の事業実施状況について

…P1

4 **審議事項**

・令和7年度の事業計画について

…P5

5 その他

6 閉 会

## 報告事項

### 令和6年度の事業実施状況について

#### 1 視聴覚ライブラリー事業

視聴覚機器の特性を生かした市民の生涯学習の支援・研究を行うとともに、地域の映像記録の制作を支援し、社会教育・学校教育の充実を図る。

【予算】1,196千円

運営委員報酬、消耗品費、修繕費（業務用機器点検、公用車車検ほか）、著作権フリー音源使用料など

##### (1) 視聴覚ライブラリー運営委員会の開催

※丹波篠山市視聴覚ライブラリー条例第5条及び第6条に基づく

開 催：第1回（6月26日）、第2回（10月9日）

協議内容：第1回（R5事業実績、R6事業推進について）

第2回（R6事業実施状況、R7事業計画について）

※委員任期：R5.4～R7.3

##### (2) 編集室での映像編集、メディア複製、音声録音の支援 **継続中**

映像編集、メディア複製・変換、録音などが行える編集室を無料で開放し、市民の記録映像をはじめ、映像・音声の制作等の支援・指導を行う。

【施設・貸出機器】

編集用パソコン6台、メディア複製機器、著作権フリー音楽等

○利用件数(9月末) 131件 月平均 22件 (R5.9月末)192件 月平均 32件

○新規利用者数(9月末) 15人 (R5.9月末) 26人

【詳細は資料P1、2、3】

##### (3) 視聴覚機器の貸出と活用支援 **継続中**

ビデオカメラ、プロジェクター、スクリーン、ブルーレイディスクプレーヤーなどの機器を無料で貸し出すとともに、操作方法や活用方法の助言を行う。

【貸出機器】

ビデオカメラ3台（HD2台、4K1台）、プロジェクター4台、スクリーン6台、ブルーレイプレーヤー2台 ほか

○貸出件数(9月末) 190件 月平均 32件 (R5.9月末)203件 月平均 34件

○新規利用者数(9月末) 21人 (R5.9月末) 25人

【詳細は資料P1、2、4】

(4) **映像記録及び映像制作** **継続中**

各課から依頼のあった映像の制作、制作支援を行った。随時 4K カメラでの映像撮影を行う。 **【詳細は資料 P6】**

## 2 地域映像配信事業

蓄積してきた映像情報をインターネット配信する。ビデオサークル「レインボー」や地元高校生の協力の下、地域ニュースや「丹波篠山まるいのTV」制作に取り組む。

**【予算】** 2,413 千円

映像ワークショップ講師謝礼、まるいのTV 司会謝礼、ビデオ収録協力者謝礼  
備品購入費 ・NAS【ネットワークHDD】2台 1,659千円  
・液晶テレビモニター及びディスプレイスタンド 141千円

(1) **丹波篠山動画データベースの蓄積・制作・配信** **継続中**

- ①地域映像ニュースを制作し、配信する映像情報の充実を図る。**【詳細は資料 P 7】**
- ②映像制作委託については、9月末の時点では未実施。今後委託予定。
- ③丹波篠山動画データベースの周知については、今後広報紙等で発信していく。
- ④保有する1,392本のDVテープについて、1,249本取込完了。
- ⑤動画ファイル名に規則性を持たせ順次保存を進めている。
- ⑥映像データ保存用のNASを購入。まるいのTV収録時に使用していた液晶テレビの画面が映らなくなり、新規TVへ更新を行った。

(2) **丹波篠山まるいのTVの制作・配信** **継続中**

- ①市内の地域情報やまちづくりの取組などを「丹波篠山まるいのTV」番組で収録し、最終金曜日にインターネットで配信する。
- ②収録に当たって、ビデオサークル「レインボー」や篠山鳳鳴高校放送部の協力を得て実施する。
- ③YouTube以外でも視聴できるよう、市内の宿泊施設、医療施設、老人施設等にDVDを配布して施設内での放映を行う。また、聴覚障がいのある方、施設内での無音放映への対応として、字幕入りで制作し、配信・配布する。

配信回数：3回 **【詳細は資料 P 8】**

(3) **映像市民動画づくりワークショップの開催** **継続中**

丹波篠山映像祭で開催する「Enjoy 丹波篠山♪ショートムービーアワード」に応募するきっかけとなるよう、映像祭実行委員長の岩田瑞希さん(Iwata\_style)を講師に映像づくりワークショップを開催した。

○回数：2回

○参加者（定員6人）：**【初級】**7月21日…6人 **【中級】**9月29日…3人

- 撮影ワークショップ（初級のみ）：商店街
- 編集ワークショップ：丹波篠山市民センター

(4) **丹波篠山の伝統行事や祭礼の映像記録制作** **継続中**

黒岡春日神社の祭礼において、魚屋町の鋒山で演奏される「お囃子」の練習風景を撮影した。祭礼の記録映像に使用するとともに、地域文化の継承に役立てる。

(5) **「画像付き音声動画」YouTube 配信** **継続中**

朗読ボランティアが朗読した「市広報丹波篠山」、「議会だより」の紙面画像付き音声動画を発行毎に制作し、YouTube で配信する。

### 3 情報化推進事業

パソコン操作に関する市民の相談窓口として、「ICTふれあいサロン」を運営し、市民の「ICT力」向上のための支援を行う。

【予算】427千円

スタッフ協力者謝礼、燃料費、ボランティア保険料

(1) **ICTふれあいサロンの運営** **継続中**

情報通信に関する市民の相談窓口として「ICTふれあいサロン」を運営し、市民ボランティアスタッフによるパソコン初心者への操作支援を行う。

【詳細は資料 P1、2、5】

○利用人数(9月末) 延べ417人 月平均70人 (R5.9月末)488人 月平均81人

○新規利用者数(9月末) 13人 (R5.9月末) 19人

○スタッフ数 11人

### 4 全国アマチュア映像コンテスト事業

丹波篠山から全国に向けて、「生きる」というテーマを映像で発信することを目的に、全国アマチュア映像コンテスト「第36回 丹波篠山映像大賞」を開催する。

また、丹波篠山映像祭実行委員会に事業委託し、令和6年度丹波篠山映像祭において「Enjoy 丹波篠山ショートムービーアワード」を実施する。

【予算】1,000千円

記念品、協力者謝金、賞金、消耗品、食糧費、印刷製本費、郵便料

丹波篠山映像祭実行委員会への事業委託料（470千円）

(1) **第36回丹波篠山映像大賞の運営** **継続中**

全国のアマチュア作者から、「生きる」をテーマにした7分以内の映像作品を募集し、丹波篠山映像祭に実施する最終審査会において、事前審査を通過したファイナ

リスト6作品の公開審査を行い顕彰する。9月30日時点で12本の応募があった。

- ①作品募集期間： 令和6年8月1日～令和6年11月30日（必着）
- ②審査委員： 西垣吉春、山本剛大（NHK 神戸放送局）、久保仁（サンテレビ）
- ③最終審査会： 令和7年2月2日開催の丹波篠山映像祭で実施する
- ④賞： 映像大賞、兵庫県知事賞、市議会議長賞、市教育長賞各1作品  
ファイナリスト賞2作品

## (2) 丹波篠山映像祭の開催 継続中

丹波篠山映像祭は、「丹波篠山映像大賞」及び「Enjoy 丹波篠山ショートムービーアワード」を実施することにより、素晴らしい作品との出会いや、作品制作における発見、達成感、充実感など、映像を通じた豊かな暮らし、豊かな人づくりを目的に開催するとともに、映像に関心を持ち、自ら丹波篠山の魅力を発信するクリエイター誕生のための布石とする。

また、市内各種業者等にスポンサーを依頼し、協力いただける皆さんと共にイベント等を開催するなど横のつながりを作ることで、来場者増加に向けて取り組み、あわせて、映像祭の開催告知を精力的に行うことで、広く周知を図っていく。

令和7年度は丹波篠山国際博が開催されることもあり、丹波篠山国際博実行委員会との連携を図り、国際博を盛り上げる一助になるよう取り組む。

【委託料】470千円

実行委員報酬、映像大賞募集要項・映像祭チラシ制作費、賞金、動画制作費など

### ①第36回丹波篠山映像大賞

- 開催日：令和7年2月2日（日）13時開会
- 会場：四季の森生涯学習センター多目的ホール
- 内容：
  - ・丹波篠山映像大賞（ファイナリスト作品上映、講評、最終審査）
  - ・「Enjoy 丹波篠山ショートムービーアワード」（優秀賞発表）
  - ・映像大賞結果発表・授賞式
- 応募状況：12本（10/3現在）

### ②Enjoy 丹波篠山ショートムービーアワード

丹波篠山の魅力が伝わる映像、丹波篠山で感じた素晴らしい瞬間や楽しい体験を撮影した1分以内の映像作品を募集し、実行委員審査を通過した作品及び、優秀賞受賞者を映像祭内で発表する。内容については実行委員会で検討する。

- 委託内容
  - ・映像大賞募集要項・映像祭開催時チラシ（新聞折り込み含む）制作
  - ・映像大賞募集時SNS広告運営
  - ・Enjoy 丹波篠山ショートムービーアワード運営 等
- 応募状況：なし（9月30日現在）

## 審議事項

### 令和7年度の事業計画について

#### 1 視聴覚ライブラリー事業

視聴覚機器の特性を生かした市民の生涯学習の支援・研究を行うとともに、地域の映像記録の制作を支援し、社会教育・学校教育の充実を図る。

【予算要求額（前年度予算額）】1,227千円（1,196千円、前年度比31千円増）

運営委員報酬、著作権使用料、消耗品費、修繕費（業務用カメラ三脚ほか）

備品購入費（4K映像対応編集パソコン一式 2,039千円）等

##### (1) 視聴覚ライブラリー運営委員会の開催 継続

※丹波篠山市視聴覚ライブラリー条例第5条及び第6条に基づく

開 催： 第1回（6月）、第2回（11月）

協議内容： 事業実績、事業計画等について

※委員任期：R7.4～R9.3

##### (2) 編集室の無料開放と撮影・編集、音声の録音やメディア複製の支援 継続

映像編集、メディア複製・変換、録音などが行える編集室を無料で開放し、市民の記録映像をはじめ、映像・音声の制作等の支援・指導を行う。

【施設・貸出機器】

編集用パソコン6台、著作権フリー音楽、メディア複製機器等

##### (3) 視聴覚機器の貸出と活用支援 継続

ビデオカメラ、プロジェクター、スクリーン、ブルーレイプレーヤーなどの機器を無料で貸し出すとともに、操作方法や活用方法の助言を行う。

【貸出機器】

ビデオカメラ3台（HD2台、4K1台）、プロジェクター4台、スクリーン6台  
ブルーレイディスクプレーヤー2台 ほか

##### (4) 映像記録及び映像制作 継続

各課から依頼のあった映像の制作、制作支援を行う。また、随時4Kカメラでの映像撮影をし記録していく。

また、視聴覚ライブラリーとしてのドキュメンタリーなどの映像制作を行う。

## 2 地域映像配信事業

蓄積してきた映像情報をインターネット配信する。ビデオサークル「レインボー」や地元高校生の協力の下、地域ニュースや「丹波篠山まるいのTV」制作に取り組む。

【予算要求額（前年度予算額）】2,301千円（2,413千円、前年度比336千円減）

まるいのTV 司会謝礼、ビデオ収録協力者・市民動画づくり講座講師謝金

映像制作委託料、備品購入費（4K映像対応編集パソコン一式等 2,048千円）

### (1) 丹波篠山動画データベースの蓄積・制作・配信 継続

- ①地域映像ニュースを随時制作し、配信する映像情報の充実を図る
- ②撮影案件に職員が対応できない場合や、職員数以上の撮影人員が必要な場合などにおいて、映像撮影・編集を市内事業者に委託する
- ③丹波篠山動画データベースの更なる周知を図る
- ④保有するVHSテープ及びDVテープ、HDVテープについて、再取り込みを行いNASに保存し、動画データベースに追加する
  - 保有メディア数 VHS 1029本、DV 1,392本、HDV 351本、DVD 397枚
  - テープメディア総データ容量 約22TB（VHS 473時間 DV 1,050時間）
  - ハイビジョン総データ容量 約20TB（HDD13台で管理）
- ⑤動画を編集するにあたり、4K対応の最新パソコン等を整備する

#### 【新規備品購入】

- ・4K映像対応編集パソコン一式 1,804千円  
平成22年度導入のハイビジョン対応編集パソコンを4K編集対応パソコンに更新する
- ・無停電電源装置 64千円  
停電時にも電源を供給し、データの紛失を防ぐために編集室に設置する

### (2) 丹波篠山まるいのTVの制作・配信 継続

- ①市内の地域情報やまちづくりの取組などを「丹波篠山まるいのTV」として制作し、最終金曜日にYouTubeで配信する。配信回数を年間6回とし、基本的に奇数月最終金曜日に配信をする。
- ②収録は、ビデオサークルレインボーや篠山鳳鳴高校放送部等の協力を得て実施する。
- ③YouTube以外でも視聴できるよう、市内の宿泊施設、医療施設、老人施設等にDVDを配布する。また、字幕入りで制作し、配信・配布する。  
配布箇所（市施設2、宿泊施設1、医療施設6、特老・老健7 合計16）

(3) **市民動画づくりワークショップの開催** **継続**

映像制作事業者による動画撮影・編集の技法を学ぶワークショップ（講座）を開催し、楽しく映像づくりに親しんでもらい、市民の映像制作の裾野を広げるとともに、映像大賞への応募を促す。令和7年度は4回（初級2回、中級2回）開催予定。

(4) **丹波篠山の伝統行事や祭礼の映像記録制作** **継続**

4Kカメラで地域の伝統行事や祭礼を随時撮影し、将来的に縮小・廃止される可能性があるものから優先的に記録していく。

(5) **「画像付き音声動画」YouTube 配信** **継続**

朗読ボランティアが朗読した「市広報丹波篠山」や「議会だより」の画像付き音声動画を制作・配信する。

### 3 情報化推進事業

パソコン操作に関する市民の相談窓口として「ICTふれあいサロン」を運営し、市民の「ICT力」向上のための支援を行う。

【予算（昨年度予算）】 417千円（427千円、前年度比1千円減）

スタッフ協力者謝礼、ボランティア保険、燃料費

(1) **ICTふれあいサロンの運営** **継続**

パソコン操作に関する市民の相談窓口として「ICTふれあいサロン」を運営し、市民ボランティアスタッフによるパソコン初心者への操作支援を行う。

また、ICTサロンの認知度を上げるために、アンケート等でニーズを把握しながら周知を図る。

### 4 全国アマチュア映像コンテスト事業

丹波篠山から全国に向けて、「生きる」というテーマを映像で発信することを目的に、全国アマチュア映像コンテスト「第37回丹波篠山映像大賞」を開催する。

また、丹波篠山映像祭実行委員会に事業委託し、令和7年度丹波篠山映像祭において「Enjoy 丹波篠山ショートムービーアワード」を実施する。

【予算（昨年度予算）】 1,711千円（1,000千円、前年度比711千円の増）

記念品、協力者謝金、賞金、消耗品、食糧費、印刷製本費、郵便料、使用料及び賃借料、丹波篠山映像祭実行委員会への事業委託料（470千円）

(1) **第37回丹波篠山映像大賞の運営** **継続**

全国のアマチュア作者から、「いまを未来へつなぐ」をテーマにした7分以内の映像作品を募集し、丹波篠山映像祭に実施する最終審査会において、事前審査を通過



したファイナリスト6作品の公開審査を行い顕彰する。主催は丹波篠山市教育委員会、丹波篠山市とし、事業運営は視聴覚ライブラリーが行う。

また、審査員として映像関係者（Youtuber等）やふるさと大使、さらには公募による市民等も加えることも計画している。

- ①作品募集期間： 令和7年8月1日～令和7年11月30日（必着）
- ②審査委員： 西垣吉春、山本剛大（NHK神戸）、久保仁（サンTV）（予定）他
- ③最終審査会： 令和8年2月2日開催（予定）の丹波篠山映像祭で実施する
- ④賞： 映像大賞、兵庫県知事賞、市議会議長賞、市教育長賞、丹波国際博賞 ファイナリスト賞、各1作品（予定）

## (2) 令和7年度丹波篠山映像祭の開催 継続・拡充

丹波篠山映像祭は、テーマを「映像でこころ豊かに」とし、素晴らしい作品との出会いや、作品制作における発見、達成感、充実感など、映像を通じた豊かな暮らし、豊かな人づくりを目的に開催するとともに、映像に関心を持ち、自ら丹波篠山の魅力を発信するクリエイター誕生のための布石とする。

また、市内各種業者等にスポンサーを依頼し、協力いただける皆さんと共にイベント等を開催するなど横のつながりを作ることで、来場者増加に向けて取り組み、あわせて、映像祭の開催告知を精力的に行うことで、広く周知を図っていく。

令和7年度は丹波篠山国際博が開催されることもあり、丹波篠山国際博実行委員会との連携を図り、国際博を盛り上げる一助になるよう取り組む。

令和7年度についても、丹波篠山市教育委員会、丹波篠山市、丹波篠山映像祭実行委員会の共催とし、映像祭実行委員会に業務委託を行い、丹波篠山映像祭における映像イベント「Enjoy 丹波篠山ショートムービーアワード」（予定）を実施する。

さらなる集客のために、「映像祭」イベントとして、「サイレント映画&ピアノ伴奏」を午前中にホールにて実施し、トリックアートの設置なども行って、映像に関連するイベントなどを実施し、来場者へのプレゼントなども行って集客を図る。

### 【委託料】 470千円

実行委員報酬、映像大賞募集要項・映像祭チラシ制作費、賞金、動画制作費など

#### ①令和7年度丹波篠山映像祭

開催日： 令和8年2月8日（日）10時開会

会場： 四季の森生涯学習センター多目的ホール

#### ②Enjoy 丹波篠山ショートムービーアワード（予定）

丹波篠山の魅力が伝わる映像、丹波篠山で感じた素晴らしい瞬間や楽しい体験を撮影した1分以内の映像作品を募集し、実行委員審査を通過した作品を実行委員が番組に編集して、映像祭1週間前にYouTube公開するほか、優秀賞受賞者を映像祭内で発表する予定。内容については実行委員会で検討する。